



プラスチックは 循環より削減を！！

奥村 さち子 一般質問

利便性があるとされてきたプラスチックは、海洋汚染など地球規模の環境問題となっており、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が今年4月に施行されました。自治体には、これまでの「容器包装プラスチック」に加えプラスチック製品も「資源」として、分別収集と再商品化の措置が求められています。



府中市では、家庭からの廃棄物を12年前から有料化し、容器包装プラスチックは、ピンクの有料袋で、プラスチック製品は、「燃やさないごみ」としてオレンジの有料袋で収集しています。プラスチック廃棄物のこれからの施策について

質問しました。

緊急の時ほど必要な 子どもの食の セーフティーネットに 給食を！



西の なお美 一般質問

夏休みなど給食がない期間に体重が減ってしまう子どもが、ひとり親世帯の小学生で11%以上にもなっていたことが支援団体の調査で明らかになりました。学校給食が子どもの食の「命綱（セーフティーネット）」となっているわけです。災害時には、特に弱い立場の人にしわ寄せがいきます。どんな時でも子どもたちに給食を提供できるか質問しました。

夏休みなど給食がない期間に体重が減ってしまう子どもが、ひとり親世帯の小学生で11%以上にもなっていたことが支援団体の調査で明らかになりました。学校給食が子どもの食の「命綱（セーフティーネット）」となっているわけです。災害時には、特に弱い立場の人にしわ寄せがいきます。どんな時でも子どもたちに給食を提供できるか質問しました。



府中市学校給食センターは当初から災害には対応していないということ、特別な対策をしていますが、文科省は災害時における学校給食実

調査に基づき 政策提案

生活者ネットワークはこの夏に、フォーリス前の街頭で「給食について」と「プラスチック廃棄物について」のアンケート調査を行いました。日常的に行なっている「一言提案」や、地域を歩く「まち歩き」などの調査から見てきた課題を学習会や講演会などで学びながら政策提案につなげています。

◆2010年に廃止になったオレンジのごみボックス（不燃ごみ）の中身の調査から資源物のリサイクルを提案（1991年）



- ◆バリアフリーの視点でまちを歩き、歩道の段差や案内表示の見にくさなどを検証（1991年～）
 - ◆学校のトイレのアンケート調査から改善をもとめる（2002年）
 - ◆多摩川水害危険個所の調査で避難所の改善を要望（2019年）
 - ◆コロナによる暮らしの不安を調査し、対策を要望（2020年）
 - ◆5G携帯電話の普及に向けて増えている基地局の電磁波調査で電磁波の害について警鐘を鳴らす（2021年）
- ぜひ、まちづくりについてのご意見や要望をお寄せください。

9月議会より

2021年度決算に 次の理由で 反対しました

●官製談合事件を受けて、入札等監視委員会の設置と、入札金額以外の提案も評価の対象となる「総合評価方式」の取り入れにより、入札の見直しは実現したものの、低入札価格調査の公表はされませんでした。

●フォアリス3階に「子育て世帯包括支援センター」が移転しましたが、市が進める「公共施設マネジメント推進プラン」にない移転計画で、しかも民間施設を賃貸で使う場合などは想定されていません。賃料は月額700万円で20年の契約です。

●コロナ禍が長引き、住居の問題を抱える市民からの相談が増えています。3ヶ月に限り住居などの支援を受けられる「一時生活支援」は、多摩26市中実施しているのは府中市のみですが、条件が厳しく、2021年度は7件の利用にとどまりました。

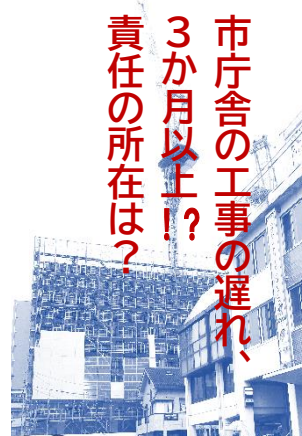
●新型コロナウイルス感染症対策事業の総額は92億3845万円で、市の財源は7億6280万円でした。市民からの相談が多いにもかかわらず、生活に困窮する一

人ひとりの実情に合わせた、府中市独自の取り組みは不十分でした。

コロナ禍で顕在化した女性や子どもの貧困対策などに積極的に取り組み、「行財政改革」で進めてきた受益者負担など、財政削減策を見直すべきでした。

市庁舎建設特別委員会

市庁舎の工事の遅れ、
3か月以上!?
責任の所在は?



9月議会では突然、工期の遅れが報告されました。酷暑による作業員の時間短縮や、コロナ禍などの理由以外で、アルミサッシの納品の遅れが、その要因ということでした。市庁舎建設特別委員会では、事業者を委員会に招き、遅れた理由について説明を求めましたが、明確な答えは得られませんでした。

この遅れにより予定されていた新庁舎への備品の発注やパソコンの納品、ネットワーク環境の設置などへの、金銭的な影響も懸念されます。またその後の工期についてや、設計や工程など、管理上の責任の所在を明らかにしなくてはなりません。

Information

生活者ネットワーク 福祉部会主催の学習会
わくわくサロン

介護と医療が必要になっても、
在宅で最期まで
安心して暮らし続けるために…

市内の訪問介護、訪問看護に携わる事業所の
現場の話をうかがい、
高齢期の暮らし方について考えます。

12月4日(日)9:30~11:30
府中市市民活動センタープラッツ
第5会議室 オンラインあり

わくわくまちづくりトーク

議会報告とまちづくりについての意見交換の会です。

10月24日(月)19時~21時
府中市市民活動センタープラッツ
第6会議室 オンラインあり

上記に参加ご希望の方は、生活者ネットワークのホームページ、もしくは電話にてお申し込みください。

問い合わせ、申し込み:TEL 042(360)4443

※zoom参加をご希望の方は、

ホームページからお申し込みください。

ホームページ:

<https://fuchu.seikatsusha.me/>



個人情報保護条例の 「二元化」にあたり、 要望書を提出しました

住民の個人情報情報は各自治体で
条例を定め保護に努めてきまし
た。条例では、個人情報は本人の
み収集ができるということや、差
別・偏見を生むおそれのある特別
な配慮が必要な個人情報の収集
を制限することを定めています。

市民や有識者などで構成される
「審議会」で保護に関する取扱い
をチェックし、その結果を住民に
公開してきました。しかし国は、
官民や地域の枠を超えたデータ利
活用に対応するため、法改正を行

ない、2023年3月までに各自
自治体の個人情報保護条例の一元
化(全国一律にする)を求めています。

この法改正で個人情報の収集・
利用・提供などを行政内部だけで
判断できることとなります。個人
情報の民間活用が活発化する時
代だからこそ、住民から取得した
さまざまな個人情報を適切に管
理していくことは重要です。

生活者ネットワークは、これま
でどおりの府中市の個人情報保
護の取り組みを維持し、住民に信
頼される行政運営を求め、要望書
を提出しました。府中市では、12
月議会条例の見直しが提案され
る予定です。

編集後記

生活者ネットワークは、法的
根拠もなく、議会軽視、国民無
視の閣議決定で進められた、安
倍晋三元総理の国葬に、反対の
声を上げました。府中市と教育
委員会に対しては、学校での弔
旗掲揚や黙とうを求めないよ
う、要望書を提出しました。葬儀
当日、いくつかの学校を回って確
認したところ、

弔旗の掲
揚はあり
ませんで
した。

